

(書簡) (43)

・昭和三十四年一月十二日 南大路一↓中谷泰

(春陽会事務所 中谷泰に引継)

世田谷区代田一―三六〇

中谷 泰様方

春陽会事務所

いろくお忙しいことと思います。感謝致します。

故木村先生の出版記念会、遺作展、新人展と本当にお忙しいことと思います。

会議やパーティーに出席しますと体の調子が悪く翌日寝込む様なことになり、今しばらく休ませて戴きたいと思えます。そのうち疲れがとれましたなら、又いろく出来るだけお手つだいいたしたいと思えます。

電話局の事務所変更届けに、春陽会の印をお願いいたします。折りかへし拙宅の方へ御転送下さい。事務用電話から家庭用に切りかへてもらふ届けであります。宜しくお願いいたします。

今日、藤野龍氏から電話がありました。それが、目の病気のことを問うてきました。藤野氏は白内障になったということです。私が前に目の病気をしたので、いろく聞きたかったのだと思います。白内障と云うと、一寸絵描きには致命傷です。両眼とも白くキリがかかった様になって、新聞も読めないとのこと、手術をして成功するか失敗するか、これからどうなりますか。いろくといきさつもありましたが白内障になった藤野龍氏は気の毒と思えます。いづれ藤野氏から事務所にも知らせるかもしれませんが、事務所の中谷さんに一寸お知らせしておきます。

いろく心配の種もつきません。

奥様くにくれぐも宜しく。

中谷 泰様 一月十二日

南大路一